

Bluetooth® レーザーマウス M-BT1BL シリーズ ユーザーズマニュアル

このたびは、エレコム Bluetooth® レーザーマウス「M-BT1BL」シリーズをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
「M-BT1BL」シリーズは、Bluetooth® 無線技術に対応したワイヤレスレーザーマウスです。また、左右方向にもスクロールができるチルトホイールやホームページの閲覧に便利な「戻る」ボタンが搭載されています。
このマニュアルでは「M-BT1BL」シリーズの操作方法と安全にお取り扱いいただくための注意事項を記載しています。ご使用前に、必ずお読みください。また、このマニュアルを読み終わったあとは、大切に保管しておいてください。
※このマニュアルでは一部の表記を除いて「M-BT1BL」シリーズを「本製品」と表記しています。

■ **電池について**
本製品が汚れたときは、乾いたやわらかい布でふいてください。
シナー、ベンジン、アルコールなど揮発性の液体を使用すると、変質や変色を起こす恐れがあります。

ワイヤレス(無線)についての注意事項

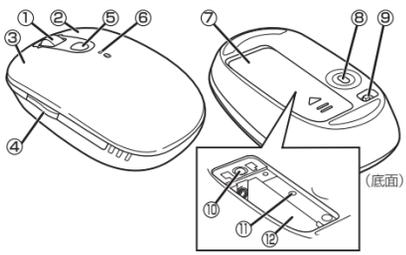
本製品は 2.4GHz 帯全球を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。電波方式には FH-SS 方式を採用し、干渉距離は 10m です。2.4GHz 帯は、医療機器や、IEEE802.11b/11g 規格の無線 LAN 機器などでも使用されています。
 ● 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないか確認してください。
 ● 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、使用場所を変更するか、または本製品の使用を停止してください。
 ※ 「他の無線局」とは、本製品と同じ 2.4GHz 帯を使用する産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の生産ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局を示します。

■ **警告**
 ● 誤動作により重大な影響を及ぼす恐れのある機器では使用しないでください。まれに外部から同じ周波数の電波や携帯電話の電波の影響を受け、誤動作する。動作が低下する。または動作しなくなることがあります。
 ● 病院など、電波使用が禁止されている場所では本製品を使用しないでください。本製品の電波で電子機器や医療機器(例えばペースメーカー)などに影響を及ぼす恐れがあります。
 ● 航空機の安全運航に支障をきたすおそれがあるため、無線式マウスを航空機内で使用することは、航空法で禁止されています。ご搭乗前にマウス本体の電源を切り、ご搭乗後は常にご使用にならないようお願いたします。
 ※ 本製品の故障等により事故や社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。

レーザーマウスにおける注意事項

本製品は、JIS C6802 及び国際標準化機関 IEC60825-1 に基づいた CLASS1 に準拠し、安全性を確保しておりますが、下記事項に十分注意の上でご使用下さい。
 (1) 顕微鏡・虫眼鏡等の光学的手段を用いてレーザー光を観察したり、レーザーを肉眼で長時間覗き込むことは、目に悪影響を及ぼす可能性があるため絶対にやめください。(レーザー光には肉眼で見えないものもあります。)
 (2) マウスの裏面を人の目に向けて照射は危険ですのでおやめください。
 (3) レーザーセンサーはガラスや鏡の表面では正常に動作しない場合があります。
 (4) パソコン用マウス以外の用途に使用しないでください。
 (5) 範囲を超えた気温に製品がさらされる場合は、パソコンの電源を切り、気温が範囲内になるまで製品をお使いにならないでください。
 (6) 正常に動作しない場合は、パソコンの電源を切り、エレコム総合インフォメーションセンターにご連絡ください。

各部の名称とはたらき



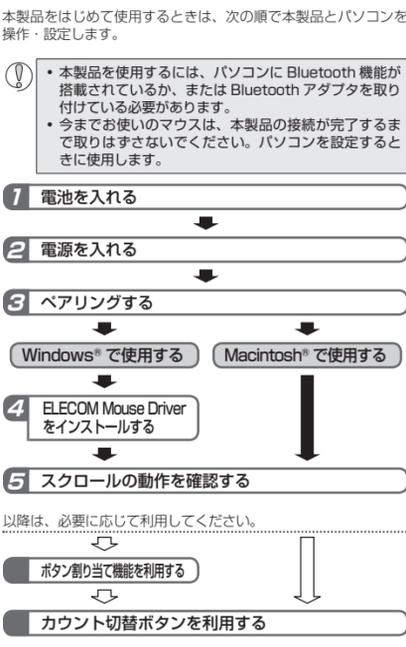
- チルトホイール**
指で前後に回転させたり、ボタンのように押すことで、パソコンの操作ができます。また、チルトホイールを左右に倒すことで左右方向へのスクロールができるようになります。(Windows® で使用する場合は、付属のドライバCDから ELECOM Mouse Driver のインストールが必要です。)
☞ [ELECOM Mouse Driver をインストールする] (裏面)
- 右ボタン**
パソコンの操作の右クリックに使います。
- 左ボタン**
パソコンの操作の左クリックに使います。
- 「戻る」ボタン**
クリックすると Web ブラウザの「戻る」ボタンと同様の動作をします。

Internet Explorer 6 の場合
 Internet Explorer 7 の場合
 Firefox の場合
 ELECOM

■ **お手入れのしかた**
本製品が汚れたときは、乾いたやわらかい布でふいてください。
シナー、ベンジン、アルコールなど揮発性の液体を使用すると、変質や変色を起こす恐れがあります。

- カウント切替ボタン**
カウント数(マウスカーソルの速度)を 800/1200/1600 カウントの 3 段階で切り替えができます。Windows Vista® の場合は、起動しているアプリケーションソフトやウィンドウを切り替えることもできます。
- 電池残量表示ランプ**
電池の交換時期をお知らせします。使用中に電池残量が少なくなると一定時間橙色に点滅します。(約 1 秒間隔)
※ ペアリング中は青色点滅します。
- 電池カバー**
このカバーを開けて、電池を入れます。
- レーザーセンサー**
マウス本体を動かしたときに、このセンサーによってマウスの動きが検知されます。
※ センサーの光を直接見ると目を痛めることがありますので注意してください。
- 電源スイッチ**
マウス本体の電源を入(ON) / 切(OFF)します。
- ペアリングボタン**
パソコンの Bluetooth 機能または Bluetooth アダプタとペアリングします。
※ 指で押しにくい場合は、先端の細い棒状のものを使用してください。
- ペアリングランプ**
ペアリング中は約 1 秒間隔でペアリングランプが点滅し、ペアリングが完了すると消灯します。
- 電池収納部**
電池を収納します。

本製品をパソコンで使用するまでの流れ



電池を入れる

本製品を使用するときは、電池 1 本をマウス本体に入れます。

- 電池カバーを取りはずします。
矢印の方向にスライドさせる
- ⊖側を手前にして、電池を入れます。
- 電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを正しく入れてください。手前がマイナス⊖です。
- 電池カバーを元通りに取り付けます。
カチッとほめ込む

電源を入れる

本製品を使用するときは、マウス本体の電源を入れます。

- 電源スイッチを ON の位置にスライドさせます。
OFF ON
- 本製品を使用しないときは、マウス本体の電源を切ることで電池を節約できます。電源スイッチを OFF の位置にスライドさせてください。

3 ペアリングする

本製品とパソコンを Bluetooth で接続するには、ペアリングをする必要があります。
 ● ペアリングとは、Bluetooth 機器同士(ここでは本製品とパソコン)をお互いに登録し、登録された機器との接続を許可する操作のことです。
 ● ペアリングの際のパソコンの操作は、今までお使いのマウスまたはタッチパッドで行ってください。

Windows® で使用する

Windows® 標準の Bluetooth 機能を使用する場合
 ※ 画面は OS によって異なりますが、手順は同じです。
 1 タスクトレイまたは通知領域にある Bluetooth アイコン(Bluetooth 機器の追加)を右クリックし、「Bluetooth デバイスの追加」をクリックします。
Bluetooth デバイスの追加ウィザードが表示されます。

アイコンが表示されていない場合は、[スタート] ボタンをクリックし、「コントロールパネル」→「ハードウェアとサウンド(プリンタとその他のハードウェア)」→「Bluetooth デバイス」の順にクリックします。表示された「Bluetooth デバイス」画面で [追加] をクリックします。

2 「セットアップを完了し、デバイスは発見可能になりました」をチェックし、「次へ(N) >」をクリックします。
Bluetooth デバイスの追加ウィザードの画面が表示されます。

追加する Bluetooth デバイスの検索が開始されます。
3 懐中電灯アイコン(Bluetooth 機器を探しています。)が表示される間に、ペアリングボタンを約 5 秒間押し続けます。

ペアリング中はペアリングランプが約 1 秒間隔で点滅し、ペアリングが完了(手順 7 まで完了)すると消灯します。
ペアリングボタン 電池カバーを取りはずした内部にあります。

4 「Bluetooth Mouse」をクリックし、「次へ(N) >」をクリックします。
Bluetooth デバイスの追加ウィザードの画面が表示されます。

5 「バスキーを使用しない」を選択し、「次へ(N) >」をクリックします。
Bluetooth デバイスの追加ウィザードの画面が表示されます。

6 「完了」をクリックします。
Bluetooth デバイスの追加ウィザードの画面が表示されます。

これでマウスの標準機能をご利用できます。
☞ [ELECOM Mouse Driver をインストールする]へ進みます。

「Bluetooth デバイス」画面に「Bluetooth Mouse」が追加されます。
[OK] をクリックします。

これでマウスの標準機能をご利用できます。
☞ [ELECOM Mouse Driver をインストールする]へ進みます。

Bluetooth Stack for Windows by Toshiba を使用する

Bluetooth Stack for Windows by Toshiba を使用する場合は、ペアリングをする必要があります。
 ※ 画面は OS によって異なりますが、手順は同じです。
 1 タスクトレイまたは通知領域にある Bluetooth アイコン(Bluetooth 機器の追加)を右クリックし、「新しい接続の追加」をクリックします。
新しい接続の追加ウィザードが表示されます。

アイコンが表示されていない場合は、[スタート] ボタンをクリックし、「コントロールパネル」→「ハードウェアとサウンド(プリンタとその他のハードウェア)」→「Bluetooth Local COM」の順にクリックします。表示された「Bluetooth 設定」画面で [新しい接続] をクリックします。

2 「エクスプレスモード(おすすめ)」を選択し、「次へ(N) >」をクリックします。
Bluetooth 設定の画面が表示されます。

追加する Bluetooth デバイスの検索が開始されます。
3 「Bluetooth 機器を探しています。」と表示される間に、ペアリングボタンを約 5 秒間押し続けます。

ペアリング中はペアリングランプが約 1 秒間隔で点滅し、ペアリングが完了(手順 4 まで完了)すると消灯します。
ペアリングボタン 電池カバーを取りはずした内部にあります。

右の画面が表示された場合は、「OK」をクリックし、本製品の電源が入っていることを確認して、手順 2 からやり直してください。

4 「Bluetooth Mouse」をクリックし、「次へ(N) >」をクリックします。
Bluetooth 設定の画面が表示されます。

Bluetooth 機器の登録が開始されます。
Bluetooth 設定の画面が表示されます。

登録が完了すると、「Bluetooth」画面に「Bluetooth Mouse」が追加されます。

これでマウスの標準機能をご利用できます。
☞ [ELECOM Mouse Driver をインストールする]へ進みます。

Macintosh® で使用する

Bluetooth メニューから「Bluetooth デバイスを設定」をクリックします。
Bluetooth 設定アシスタントが表示されます。

Bluetooth メニューが表示されていない場合は、アップメニューから「システム環境設定」画面で「Bluetooth」をクリックし、「Bluetooth」画面で「新しい接続の追加」をクリックします。

2 「続ける」をクリックします。
Bluetooth 設定アシスタントの画面が表示されます。

3 「マウス」を選択し、「続ける」をクリックします。
Bluetooth 設定アシスタントの画面が表示されます。

追加する Bluetooth デバイスの検索が開始されます。
4 ペアリングボタンを約 5 秒間押し続けます。
ペアリング中はペアリングランプが約 1 秒間隔で点滅し、ペアリングが完了(手順 6 まで完了)すると消灯します。
ペアリングボタン 電池カバーを取りはずした内部にあります。

「登録に失敗しました。…」という内容のメッセージが表示された場合は、本製品の電源が入っていることを確認し、「続ける」をクリックします。

5 「Bluetooth Mouse」をクリックし、「続ける」をクリックします。
Bluetooth 設定アシスタントの画面が表示されます。

6 「終了」をクリックします。
Bluetooth 設定アシスタントの画面が表示されます。

登録が完了すると、「Bluetooth」画面に「Bluetooth Mouse」が追加されます。

これでマウスの標準機能をご利用できます。
☞ [ELECOM Mouse Driver をインストールする]へ進みます。

これでマウスの標準機能、および左右スクロール機能をご利用できます。
☞ 「スクロールの動作を確認する」を参照し、マウスが正しく動作するかを確認してください。

4 ELECOM Mouse Driverをインストールする

Windows® で左右方向のスクロール機能やボタン割り当て機能を利用するには、ELECOM Mouse Driverをインストールする必要があります。

- ❗ ELECOM Mouse Driverをインストールする前に・・・
- 管理者権限を持つユーザーアカウントでログインしてください。
 - 当社・他社のマウスユーティリティソフトがインストールされている場合は、アンインストールを行ってください。
 - すべてのWindows®プログラム(アプリケーションソフト)を終了することを推奨します。
 - Macintosh®へのELECOM Mouse Driverのインストールは不要です。

1 付属のドライバCDをドライブに挿入します。

- Windows Vista®の場合
- 7.「自動再生」画面が表示された場合は、「AUTORUN.EXEの実行」をクリックします。



「自動再生」画面が表示されない場合は、[スタート]ボタン→[コンピュータ]の順にクリックし、ドライブCDを挿入したドライブをダブルクリックします。(CD-ROMの内容が表示されたときは、「setup.exe」をダブルクリックします。)

- ### 2 「ユーザー アカウント制御」画面が表示されたときは、「続行(C)」をクリックします。

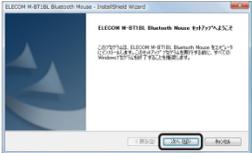


- Windows® XPの場合
- 自動的にセットアッププログラムが起動します。

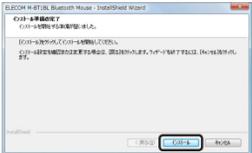
セットアッププログラムが起動しないときは、マイコンピュータからドライブCDを挿入したドライブをダブルクリックします。(CD-ROMの内容が表示されたときは、「setup.exe」をダブルクリックします。)

※以降のセットアッププログラムの画面はOSによって異なりますが、手順は同じです。

2 「次(N)>」をクリックします。



3 「インストール」をクリックします。



4 「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択し、ドライバCDを取り出してから、「完了」をクリックします。



❗ 「いいえ、後でコンピュータを再起動します。」を選択した場合は、手動でパソコンを再起動してください。

これでELECOM Mouse Driverのインストールは完了です。
②「スクロールの動作を確認する」を参照し、マウスが正しく動作するかを確認してください。

5 スクロールの動作を確認する

Windows® ではELECOM Mouse Driverが正常にインストールされると、またMacintosh®ではペアリングが完了すると、チルトホイールで左右スクロールができるようになります。次の方で「マウスのプロパティ」画面を表示し、設定します。

ここでは、Windows®の「Internet Explorer」を例としています。Macintosh®の場合は「Safari」で確認してしてください。

1 「[スタート]ボタンから[すべてのプログラム]→[Internet Explorer]の順にクリックします。[Internet Explorer]が起動します。



2 Internet Explorerでお好みのホームページを表示させ、画面のサイズを上下左右のスクロールバーが表示されるように変更します。



指の動きに合わせて画面が上下にスクロールすれば、正常です。

3 マウスのチルトホイールを前後に動かします。



指の動きに合わせて画面が左右にスクロールすれば、正常です。

❗ スクロール機能に対応していない一部のアプリケーションでは、チルトホイールを操作しても動作しない場合があります。

ボタン割り当て機能を利用する

Windows®の場合は、インストールしたELECOM Mouse Driverを利用して、ボタンに割り当てられている機能を変更できます。次の方で「マウスのプロパティ」画面を表示し、設定します。

1 以下のいずれかの操作を行います。

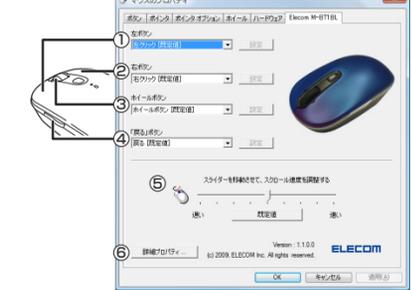
- Windows Vista®の場合
[スタート]ボタンから[コントロールパネル]→[マウス]をクリックします。
- Windows® XPの場合
[スタート]ボタンから[コントロールパネル]→[プリンタとその他のハードウェア]→[マウス]をクリックします。

「マウスのプロパティ」画面が表示されます。

2 [Elecom M-BT1BL]タブをクリックします。



3 お好みに合わせてボタンなど、マウスの設定をします。



- 左ボタン
 - 右ボタン
 - ホイールボタン
 - 「戻る」ボタン
- 各ボタンに機能を割り当てることができます。

※選択した機能によっては、「設定」をクリック可能になり、クリックするとダイアログボックスが表示されます。詳細を変更できます。

⑤ スライダーを移動させて、左右方向へのスクロール速度を調整できます。

⑥ 「詳細が使い」をクリックすると、「詳細プロパティ」画面が表示されます。

設定例 1

ホイールボタンに「コントロールパネル」を開く機能を割り当てる

1. 「ホイールボタン」から「コントロールパネル」を選択します。



これで、ホイールボタン(チルトホイール)をクリックすると、「コントロールパネル」が表示されるようになります。

設定例 2

「戻る」ボタンにアプリケーションを起動する機能を割り当てる

1. 「戻る」ボタンから「アプリケーション起動」を選択します。



「アプリケーション起動」画面が表示されます。

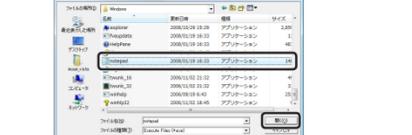
2. 「[参照]」→「参照」をクリックします。



- 「ショートカットを割り当てるプログラムのパスを入力」に直接パスを入力しても設定できます。
例)メモ帳の場合
C:\Windows\¥notepad.exe
- 「説明」に割り当てたプログラムの説明などを入力します。入力しなくてもかまいません。

「ファイルを開く」画面が表示されます。

3. プログラム(*.exe)を指定し、「開(O)」をクリックします。 ※ここでは例としてメモ帳(notepad.exe)を設定します。



4. 「OK」をクリックします。



これで、「戻る」ボタンをクリックすると、設定したアプリケーションが起動するようになります。

4 設定が完了したら、「マウスのプロパティ」画面の「OK」をクリックします。

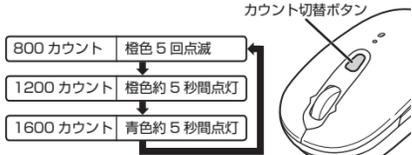


カウント切替ボタンを利用する

■ カウント数を切り替える

カウント数(マウスカーソルの速度)を3段階で切り替えることができます。

カウント切替ボタンを1秒以上押すごとに切り替わります。



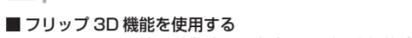
■ アプリケーションソフトを切り替える

Windows Vista®の場合は、カウント切替ボタンでアプリケーションソフトを切り替えることができます。

1 カウント切替ボタンを押します。

アプリケーションソフト切替画面が表示されます。

2 前面に表示したいアプリケーションソフトをクリックして選択します。



■ フリップ 3D 機能を使用する

Windows Vista®でAero機能がオンの場合は、カウント切替ボタンでフリップ3D機能を使用することができます。

1 カウント切替ボタンをすばやく2回押します。

フリップ3D機能が起動します。

2 チルトホイールを前後に動かすと、選択されているウィンドウが切り替わります。

前面に表示したいウィンドウをクリックして選択します。



❗ 「Windows」キー+「Tab」キーを押したときと同じ動作です。

❗ Windows Vista®で「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、「続行(C)」をクリックします。

※以降のセットアッププログラムの画面はOSによって異なりますが、手順は同じです。

4 「はい(Y)」をクリックします。

インストールが開始されます。

5 「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択し、「完了」をクリックします。

パソコンが再起動します。

❗ 「いいえ、後でコンピュータを再起動します。」を選択した場合は、手動でパソコンを再起動してください。

これでELECOM Mouse Driverのインストールは完了です。

トラブルシューティング

正常に動作しないとき

■ マウスを動かしても画面上のマウスポインタが動かない、動作が不安定

- ▶ 本製品の電源、パソコンのBluetooth機能またはBluetoothアダプタがONになっていることを確認してください。
- ▶ 本製品とパソコンが正しくペアリングされているか、ペアリングが切れていないかなど、ペアリングの状況を確認してください。

- ▶ ペアリング中はペアリングランプが約1秒間隔で点滅し、ペアリングが完了すると消灯します。
- ▶ ペアリングする機器がないときは、ペアリングランプが1秒間に2回点滅→2秒間消灯を繰り返します。
- ▶ パソコンのBluetooth機能およびBluetoothアダプタについては、それぞれの取扱説明書をお読みください。または、製造メーカーにお問い合わせください。

▶ パソコンとマウス本体の距離が離れすぎているか、パソコンが電波を受信できない方向を向いている可能性があります。パソコンの位置を調整するのをお勧めします。

▶ 本製品の動作範囲は、パソコンとマウス本体が半径10m以内です。使用環境によっては、約10mの範囲内でもマウスが正常に動作しない場合があります。その場合は、動作が安定するところまで、マウスをパソコンに近づけてください。

▶ 使用している場所の光の反射率がレーザーマウスに適していない可能性があります。レーザーマウス対応マウスパッドを使用してください。

▶ スチール製の机などの金属面では電波の到達距離が短くなる場合があります。この場合、マウスの動作が安定するところまでパソコンをマウスに近づけてください。

▶ 本製品を複数で使用したり、他のワイヤレス機器と同時に使用すると、電波が干渉する可能性があります。他のワイヤレス機器のチャンネルを変更してください。

▶ 電池の残量が少なくなると動作が不安定になります。「電池を入れる」(表面)を参照し、早めに新しい電池に交換してください。本製品に付属のアルカリ乾電池は動作確認用です。製品の流通過程で乾電池が自然放電し消費していることがあります。

- ▶ 電池の残量が少なくなると、電池残量表示ランプが一定時間橙色に点滅します。
- ▶ マウスを使用しないときは電源を切っておくと、電池を節約できます。

▶ ノートパソコンのタッチパッドなど、他のドライバと競合している可能性があります。本製品を正常に使用するには、タッチパッドのドライバを削除する必要があります。ただし、ドライバを削除するとタッチパッドが使用できなくなったり、タッチパッド専用の機能が使用できなくなる可能性があります。詳しくはパソコンのメーカーにお問い合わせください。

■ マウスカーソルは動くが、チルトホイールが動かない

▶ スクロール機能に対応していない一部のアプリケーションでは、チルトホイールを操作しても動作しない場合があります。

ELECOM Mouse Driver のアンインストール方法

ELECOM Mouse Driverを再インストールする場合は、いったんELECOM Mouse Driverをアンインストールしてください。

1 「[スタート]ボタンをクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。

2 以下のいずれかの操作を行います。

- Windows Vista®の場合
[プログラム]の[プログラムのアンインストール]をクリックします。
- Windows® XPの場合
[プログラムの追加と削除]をクリックします。

3 インストールされているプログラムの一覧から「ELECOM M-BT1BL Bluetooth Mouse」を選択し、「アンインストール」(Windows Vista®)または「削除」(Windows® XP)をクリックします。

❗ Windows Vista®で「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、「続行(C)」をクリックします。

※以降のセットアッププログラムの画面はOSによって異なりますが、手順は同じです。

4 「はい(Y)」をクリックします。

アンインストールが開始されます。

5 「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択し、「完了」をクリックします。

パソコンが再起動します。

❗ 「いいえ、後でコンピュータを再起動します。」を選択した場合は、手動でパソコンを再起動してください。

これでELECOM Mouse Driverのアンインストールは完了です。

基本仕様

製品名	ブルートゥース レーザーマウス
製品型番	M-BT1BL シリーズ
対応機種	Bluetoothモジュールがインストール済み/パソコン(Bluetoothモジュールをインストールしていないパソコン)でご利用の場合は別途Bluetoothレシーバーをご購入ください。
対応OS	Windows Vista(SP1を含む)、XP(SP2～SP3)、Mac OS X(10.5～10.5.6)
カウント数	800/1200/1600カウント (切替可能)
接続方式	Bluetooth無線技術
適合規格	Bluetooth 2.0 Class2
プロファイル	HID(Human Interface Device)
電波周波数	2.4GHz帯
電波方式	FH-SS方式
電波到達距離	非磁性体(木の机など):約10m 磁性体(鉄の机など):約3m ※当社環境でのテスト値であり保証ではありません。
外形寸法	W57.2 × D98.3 × H35 mm
動作温度/湿度	5℃～40℃ / 90%RH(ただし結露なきこと)
保存温度/湿度	-10℃～60℃ / 90%RH(ただし結露なきこと)
対応電池	単3形アルカリ乾電池、単3形マンガン乾電池、単3形ニッケル水素電池
動作時間	アルカリ乾電池使用時の目安 連続動作時間:約66時間 連続待機時間:約151日 想定使用可能時間:約31日間 (1日8時間のパソコン操作中25%をマウス操作に割り当てた場合)

ユーザーサポートについて

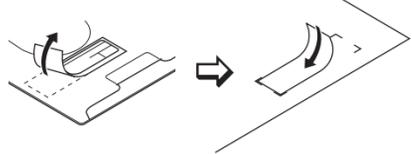
【よくあるご質問とその回答】
www.elecom.co.jp/support
こちらから製品Q&Aをご確認ください。

【お電話・FAXによるお問い合わせ(セビダイヤル)】
エレコム総合インフォメーションセンター
TEL: 0570-084-465
FAX: 0570-050-012

【受付時間】
9:00～19:00
年中無休

保証書シールについて

本製品の保証書はパッケージの裏側にあります。シール状になっていますので、パッケージからはがして、本マニュアルの下部の保証書シール貼り位置に貼って、マニュアルと一緒に保管してください。



保証規定

- 保証内容
1. 弊社が定める保証期間(本製品ご購入日から起算されます。)内に、適切な使用環境で発生した本製品の故障に限り、無償で本製品を修理または交換いたします。
- 無償保証範囲
2. 以下の場合には、保証対象外となります。
(1)保証書および故障した本製品をご提出いただけない場合。
(2)保証書に販売店ならびに購入年月日の記載がない場合、またはご購入日が確認できる証明書(シード・納品書など)をご提示いただけない場合。
(3)保証書に偽造・改変などが認められた場合。
(4)弊社および弊社が指定する機関以外の第三者ならびにお客様による改造、分解、修理により故障した場合。
(5)弊社が定める機器以外に接続、または組み込んで使用し、故障または破損した場合。
(6)通常一般家庭内で想定される使用環境の範囲を超える温度、湿度、振動等により故障した場合。
(7)本製品を購入いただいた後の輸送中に発生した衝撃、落下等により故障した場合。
(8)地震、火災、落雷、風水害、その他の天変地異、公害、異常電圧などの外的要因により故障した場合。
(9)その他、無償修理または交換が認められない事由が発見された場合。

- 修理
3. 修理のご依頼は、本保証書の本製品に添えて、お買い上げの販売店にお持ちいただくか、弊社修理センターへ送付してください。
4. 弊社修理センターへご送付いただく際は送料はお客様のご負担となります。また、ご送付いただく際、適切な梱包の上、紛失防止のため受渡の確認できる手段(宅配や簡易書留など)をご利用ください。尚、弊社は運送中の製品の破損、紛失については一切の責任を負いかねます。
- 5. 同機種での交換ができない場合は、保証対象製品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と交換させていただきます場合があります。6. 有償、無償にかかわらず修理により交換された旧部品または旧製品等は返却いたしません。
- 7. 記憶メディア・ストレージ製品において、修理センターにて製品交換を実施した際にはデータの保全は行わず、全て初期化いたします。記憶メディア・ストレージ製品を修理に出す前には、お客様自身でデータのバックアップを取っていただきますようお願い致します。

- 免責事項
8. 本製品の故障について、弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、弊社の債務不履行および不法行為等の損害賠償責任は、本製品購入代金を上限とさせていただきます。
- 9. 本製品の故障に起因する派生的、付随的、間接的および精神的損害、逸失利益、ならびにデータ損害の補償等につきましては、弊社は一切責任を負いかねます。

- 有効範囲
10. この保証書は、日本国内においてのみ有効です。
11. 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

ブルートゥース レーザーマウス
M-BT1BL シリーズ
ユーザーズマニュアル
2009年4月1日 第2版
エレコム株式会社

- 本書の著作権は、エレコム株式会社が保有しています。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載することを禁止させていただきます。
- 本書の内容に関するご意見、ご質問がございましたら、エレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡願います。
- 本製品の仕様および外観は、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- 実行した結果の影響につきましては、上記の理由にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品のうち、戦略物資または役務に該当するものの輸出にあたっては、外為法に基づく輸出または役務取引許可が必要で
- Windows Vista および Windows ロゴは、Microsoft の企業グループの商標です。
- Mac, Mac OS, Macintosh は米国 Apple Inc. の商標または登録商標です。
- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する商標であり、エレコム株式会社はこれら商標を使用する許可を受けています。
- その他本書に記載されている会社名・製品名等は、一般に各社の商標または登録商標です。

©2009 ELECOM Co., Ltd. All Rights Reserved. M870-M12

ここに保証書シールをお貼りください。